



認定NPO法人化を支援する NPO向けシステムの開発

企業との協働 NPO支援



NPO
法人

メイあさかセンター
(朝霞市)

企業

株式会社エーティーティー
ソリューションズ
開発センター(朝霞市)

NPO法人が寄附金を確保するために、寄附者が税法上の優遇措置を受けられる団体を国税庁が認定するのが「認定NPO法人」制度。しかし全国で4万を超えるNPO法人のうち、認定NPO法人は188団体、埼玉県では3団体のみである(2010年12月1日現在)。

そこで認定NPO法人を増やすために、会員や寄附金を管理できるシステムを、認定NPO法人であるメイあさかセンターとソフト開発メーカーが協働で開発した。

協働のきっかけ

認定NPO法人と認められるためには、経常収入に占める寄附金の割合が一定以上であるPST(パブリックサポートテスト)の条件を満たさなければならない。

メイあさかセンターは他のNPOの寄附金の管理・運営を支援するシステムを開発したいと、会員の一人が経営するシステム開発会社に働きかけて、会員管理システム「NPION(エヌピオン)」を開発した。

キーワード

認定NPO法人 収益事業 ソフト開発

協働のメリット

NPO
法人

システムの販売を通じて「認定NPO法人」制度の理解を広めることが期待できる。

また、国においてもNPOの財政支援のために、認定NPO法人の認定基準の緩和が検討されており、これらの動きに関心が高まることが期待される。



企業から操作指導を受けるNPOスタッフ

企業

社会貢献活動としてはもちろん、システム運用のサポートなどの収益事業にもつなげることができる。

苦勞・工夫したこと

NPO
法人

PSTのクリアを前提としたシステム開発は、税務・会計の専門知識が必要となる。

このためシステム開発では、メイあさかセンターで実務を担当している役員の尽力のほか、NPOの法制度に詳しい外部のNPOの指導・助言が欠かせなかった。

企業の代表取締役は、「実務に即した意見・協力がなければシステムは完成しなかった。」とのコメントを寄せている。

企業

当初、販売対象がNPO法人に限定されていたため、開発途中で、システムを変更して、自治会、町内会、市民団体等にも使えるようにして販売対象を広げた。